

エダラボン点滴静注 30mg／点滴静注液 30mg バッグ「NP」 「効能・効果」、「用法・用量」一部変更承認取得のお知らせ

ニプロ株式会社(本社:大阪府摂津市、代表取締役社長:山崎 剛司)は、エダラボン点滴静注 30mg／点滴静注液 30mg バッグ「NP」につきまして、2026年3月18日付で、以下のとおり、効能・効果、用法・用量の一部変更承認を取得しましたことを、お知らせいたします。

これにより、先発医薬品と効能・効果、用法・用量が同一となり、先発医薬品との適応不一致が解消されました。

〔承認内容〕 (※下線部分が追加されました。)

効能・効果	<p>○脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善</p> <p>○<u>筋萎縮性側索硬化症 (ALS) における機能障害の進行抑制</u></p>
用法・用量	<p>〈エダラボン点滴静注 30mg 「NP」〉</p> <p>脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善</p> <p>通常、成人に1回1管(エダラボンとして30mg)を適当量の生理食塩液等で用時希釈し、30分かけて1日朝夕2回の点滴静注を行う。</p> <p>発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内とする。</p> <p><u>筋萎縮性側索硬化症 (ALS) における機能障害の進行抑制</u></p> <p><u>通常、成人に1回2管(エダラボンとして60mg)を適当量の生理食塩液等で用時希釈し、60分かけて1日1回点滴静注を行う。</u></p> <p><u>通常、本剤投与期と休薬期を組み合わせた28日間を1クールとし、これを繰り返す。第1クールは14日間連日投与する投与期の後14日間休薬し、第2クール以降は14日間のうち10日間投与する投与期の後14日間休薬する。</u></p> <p>〈エダラボン点滴静注液 30mg バッグ「NP」〉</p> <p>脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善</p> <p>通常、成人に1回1袋(エダラボンとして30mg)を、30分かけて1日朝夕2回の点滴静注を行う。</p> <p>発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内とする。</p> <p><u>筋萎縮性側索硬化症 (ALS) における機能障害の進行抑制</u></p> <p><u>通常、成人に1回2袋(エダラボンとして60mg)を、60分かけて1日1回点滴静注を行う。</u></p> <p><u>通常、本剤投与期と休薬期を組み合わせた28日間を1クールとし、これを繰り返す。第1クールは14日間連日投与する投与期の後14日間休薬し、第2クール以降は14日間のうち10日間投与する投与期の後14日間休薬する。</u></p>

ニプログループは今後とも、患者さんのQOL (Quality of life) 向上はもちろんのこと、より安全で、社会のニーズに応えられる製品の開発、提供に努めてまいります。

お問い合わせ先

報道機関の皆さま:コーポレートコミュニケーション部 PR 室

TEL 06-6310-6650

その他の皆さま :製品マーケティング部

TEL 06-6310-6958

※受付時間 9 時～17 時 45 分(土・日・祝日・当社休業日を除く)

このニュースリリースは、報道関係者や株主・投資家等の皆さまを含む多くのステークホルダーに対し、当社の企業活動に関する情報やその取組み概要について、公平かつ適切なタイミングで提供することを目的としています。

文中に含まれる当社取扱製品やサービスに関する情報は顧客誘引や医学的アドバイスを意図するものではありません。